

再 評 価 調 書

I 事業概要							
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）						
地区名	主要地方道豊橋渥美線						
事業箇所	田原市浦町						
事業のあらまし	<p>主要地方道豊橋渥美線は、田原市街地と三河港臨海地区を結ぶ重要な幹線道路であり、臨海地区には、自動車産業を中心とした企業多く、産業活動等を支える道路としての重要度が高まっている。また、当該交差点は、右折車線がないため、朝夕の通勤時間帯においては、右折車による阻害のため、交通渋滞を引き起こし、追突事故の危険性が非常に高くなっている。さらに、通学路にも指定されていることから、横断中児童と無理な右折車による接触事故が発生する危険性もある。そのため、交差点改良による右折車線の位置及び、歩道の拡幅により、円滑な交通処理を実現し、通学児童をはじめとした歩行者等の安全性を確保するものである。</p>						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 ① 危険通学路の解消 ② 交通円滑化 【副次目標】（必要に応じて記載する） —</p>						
計画変更の推移		事前評価時 (2007年度)	再評価時 (1回目) (2012年度)	再評価時 (2回目) (2020年度)	再評価時 (3回目) (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2007年度～ 2013年度	2007年度～ 2022年度	2007年度～ 2025年度	2007年度～ 2030年度	用地交渉の難航	
	事業費(億円)	2.0	2.5	3.0	3.1	精査による増額	
	経費内訳	工事費	1.0	1.0	1.5	1.5	—
		用補費	0.5	1.0	1.0	1.1	精査による増額
その他		0.5	0.5	0.5	0.5	—	
事業内容	交差点改良 L=460m	交差点改良 L=460m	交差点改良 L=460m	交差点改良 L=460m	—		
II 評価							
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】 渋滞対策箇所の交差点に位置付けられており、また交通事故の発生の危険性が高い。 【再評価時の状況】（1回目、2回目、3回目） 通学路に指定されているほか、渋滞対策箇所の交差点にも位置付けられており、交通事故の発生の危険性が高い。 【変動要因の分析】 交差点の状況および通過交通に変化はないことから必要性に大きな変化はない。</p>					
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>				

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【理由】 交差点の状況および通過交通に変化はないことから、交差点改良事業の必要性に変化はない。</p> <p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007</th> <th>～</th> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>～</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>～</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="2">0.3</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2">1.1</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">3.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">0.3</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2">0.0</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">1.9</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="2">0.3</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="2">0.0</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">0.7</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">3.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.46</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.46</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.0</td> <td>1.9</td> <td>63%</td> <td>3.1</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>27%</td> <td>1.5</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>100%</td> <td>1.1</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>100%</td> <td>0.5</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>面積ベースの用地取得率は92%</p> <p>【施工済みの内容】 —</p>		2007	～	2011	2012	～	2016	2017	～	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	工種区分	調査・設計																				用地補償																				工事																				事業費(億円)	前回計画	0.3		0.8		0.8		1.1										3.0		実績	0.3		0.8		0.8		0.0										1.9		今回計画	0.3		0.8		0.8		0.0				0.7						3.1			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.46	0.0	0%	0.46	0%	事業費(億円)	3.0	1.9	63%	3.1	61%	工事費	1.5	0.4	27%	1.5	27%	用補費	1.0	1.0	100%	1.1	91%	その他	0.5	0.5	100%	0.5	100%
		2007	～	2011	2012	～	2016	2017	～	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計																																																																																																																																																																		
	工種区分	調査・設計																																																																																																																																																																																				
用地補償																																																																																																																																																																																						
工事																																																																																																																																																																																						
事業費(億円)	前回計画	0.3		0.8		0.8		1.1										3.0																																																																																																																																																																				
	実績	0.3		0.8		0.8		0.0										1.9																																																																																																																																																																				
	今回計画	0.3		0.8		0.8		0.0				0.7						3.1																																																																																																																																																																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																																		
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																	
延長(km)	0.46	0.0	0%	0.46	0%																																																																																																																																																																																	
事業費(億円)	3.0	1.9	63%	3.1	61%																																																																																																																																																																																	
工事費	1.5	0.4	27%	1.5	27%																																																																																																																																																																																	
用補費	1.0	1.0	100%	1.1	91%																																																																																																																																																																																	
その他	0.5	0.5	100%	0.5	100%																																																																																																																																																																																	
2) 未着手又は長期化の理由	事業用地について、地元との交渉に時間を要したため。																																																																																																																																																																																					
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 用地交渉が長期化している。</p> <p>【今後の見込み】 用地交渉が難航しているが、事業期間を延伸し鋭意交渉を進めることで、2030年度に事業完了する見込みである。</p>																																																																																																																																																																																					
判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 用地買収が難航しているが、継続して用地交渉を進めることで、2030年度の事業完了が見込まれるため</p>																																																																																																																																																																																					

Ⅲ 対応方針

継続

中止：上記①及び②の評価で一つでもC判定があるもの。

継続：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

-

【主な評価内容】

事業実施前後の交通状況（事故の発生状況）の変化と歩行者等の安全性の変化

